

柏市版



令和3年度
接続期カリキュラム



《 目 次 》

| | | | |
|-----|---------------------|----|----|
| I | 接続期カリキュラムとは | — | 1 |
| II | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 | — | 2 |
| III | アプローチカリキュラム | — | 4 |
| 1 | 小学校の学びの基礎となる幼児期の姿 | …… | 5 |
| | （1）系統 | | |
| | （2）幼児期の経験 | | |
| 2 | エピソードから見る幼児期の姿 | …… | 10 |
| IV | スタートカリキュラム | — | 18 |
| | スタートカリキュラム 編成のポイント | …… | 19 |
| | （1）人間関係づくり | …… | 20 |
| | （2）時間割の工夫 | | |
| | ①生活科と合科的に扱える各教科の活動例 | …… | 21 |
| | ②スタートカリキュラム単元計画（例） | …… | 22 |
| | ③年間指導計画の中の位置づけ（例） | …… | 23 |
| | ④学習予定・環境構成・資料等 | …… | 24 |
| | ⑤単元の主な活動展開 | …… | 30 |
| | （3）「勉強したい！」子どもの思い | …… | 38 |
| V | 幼保こ小連携 | — | 41 |
| 1 | 柏市の幼保こ小連携 | …… | 42 |
| 2 | 幼保こ小 連携活動例 | …… | 43 |
| 3 | 幼保こ小 交流会計画例 | …… | 44 |





I 接続期カリキュラムとは



幼保こ園と小学校の段差を滑らかにする

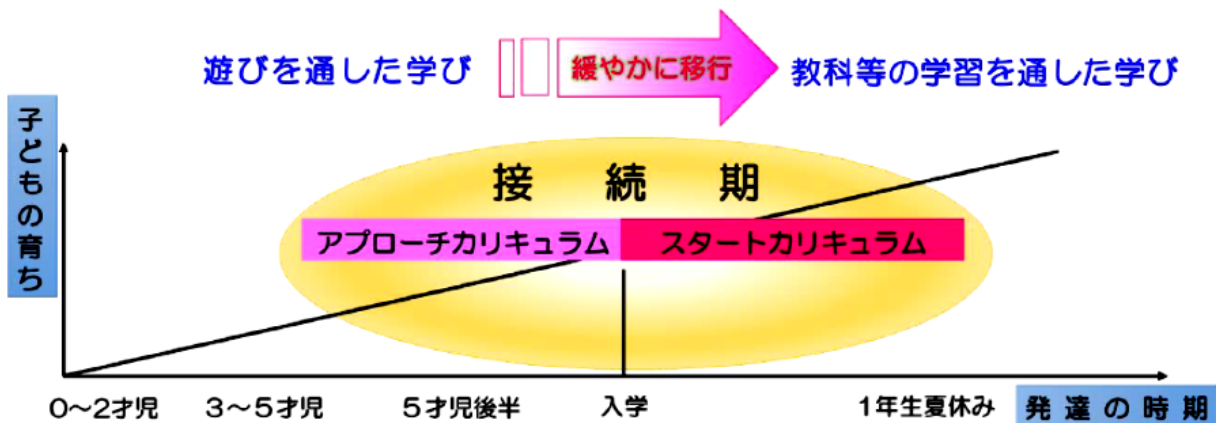
小学校入学時、「教室にはさまざまな種類のおもちゃや絵本などが常備されている園」から「机といすが整然と並んでいる学校」、「子ども一人一人が自由に活動できる時間の多い園」から「時間割に従って行動する学校」など、自分主体の活動から決められた形式での活動へ、その変化に子どもたちは戸惑います。そして、昔からあった入学時の「段差」が、社会情勢や子育ての変化などにより、以前より子どもにとってのほりにくくなっているのです。だからと言って全ての段差を取り除くのではなく、「必要のない段差」をなくし、子ども自身の力で乗り越えられるように、小学校の生活に徐々に慣れさせていくことが求められています。

教育要領・保育指針・指導要領の改訂

平成30年度改訂の「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」、「認定こども園教育・保育要領」では幼児教育の共通化が図られ、「小学校教育指導要領」も含めて幼保こ小の連携・接続強化が明記され、子どもの発達と学びの連続性、一貫性を考慮した教育の必要性が示されました。

アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム

「接続期カリキュラム」は、園による「アプローチカリキュラム」と小学校による「スタートカリキュラム」から構成されます。「アプローチカリキュラム」は幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラムであり、「スタートカリキュラム」は、小学校へ入学した1年生が小学校の生活や教科の学習に円滑に移行していくことを目指して編成されたカリキュラムです。





Ⅱ 幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿

平成30年に施行されました「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」では、幼児教育の修了時である5歳児に成長が期待される内容を整理し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として10の姿が明記されました。

次に示す一覧は、この10の姿について具体的な子どもの様子をまとめたものです。この姿は、先生方に「こういう姿を目指してほしい」という方向性として捉えていただきたいものとなっています。幼児教育における子どもの育ちに関わる要素である「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域のねらい及び内容を達成することによって10の姿に近づくことができます。そして、この姿を幼稚園や保育園、認定こども園と小学校の先生方で共有化することにより、幼児教育と小学校教育の接続がスムーズにいくことにつながります。



幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿

| | | |
|--------------|------------------------------|--|
| 生活習慣・運動 | 健康な心と体 | <p><基本的な生活習慣></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱, 食事, 排泄, 整頓など, 基本的な生活習慣を身につけることの大切さがわかり, 意欲や自信をもって, 自分で行うようになる。 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p><健康な心と体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす気持ちよさを味わうようになる。 ・自ら運動しようとする意欲をもち, 体の諸部位を十分に動かして, 進んで運動するようになる。 ・食べ物への興味や関心をもち, みんなと食べる喜びや楽しさを感じながら, 進んで食べるようになる。 |
| | 人との関わり | 自立心 |
| 協同性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・友達と積極的に関わる中で友達の思いや考えを感じながら行動する。 ・友達との関わりを通して互いのよさが分かり, 工夫したり協力したりしながら, 友達と一緒にやり遂げる満足感を味わう。 |
| 道徳性・規範意識の芽生え | | <p><道徳性の芽生え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や周囲の人の気持ちを理解し, 思いやりをもって接する。 ・他者の気持ちに共感したり, 自分の行動を振り返ったりする経験を通して, 自分の気持ちを調整しながら行動するようになる。 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p><規範意識の芽生え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との様々な葛藤などの体験を重ねることを通し, してよいことと悪いことが分かり, 自分で考えて行動するようになる。 ・よりよく生活するためにきまりがあることを知り, 作り替えたり新たに作ったりしながら, きまりを守って生活するようになる。 |
| 社会生活との関わり | | <ul style="list-style-type: none"> ・家族から愛されていると感じ, 家族を大切にしようとする気持ちをもつようになる。 ・地域の人々に親しみをもって接する。 |
| 学びの芽生え | 思考力の芽生え | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な環境に積極的に関わる中で, より深い興味関心をもち, 不思議に思ったことなどを自分なりに考えて試したり, 工夫してみたりする。 ・友達の考えを感じとったり, 聞いたりして新しい思いや考えを生み出す喜びを味わうようになる。 |
| | 自然との関わり 生命尊重 | <ul style="list-style-type: none"> ・動植物との触れ合いを通じて, 生きているものへの愛着を感じ, 生命の営みの不思議さや大切さに気付くようになる。 |
| | 数量や図形, 標識や文字など への関心・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中で, 数量や図形, 長短などに親しむ経験を重ね, 使うようになる。 ・文字や様々な図などが, 人と人をつなぐコミュニケーションの役割を持つことに気づき, 生活や遊びの中で使うようになる。 |
| | 言葉による伝え合い | <ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞いたり, 自分の思いや考えを伝えたりすることで, 言葉を通して先生や友達と心を通わせるようになる。 ・日常生活の中で様々な環境を通して新しい言葉に出会うことで, 豊かな語彙を獲得し, 言葉への関心が高まるようになる。 |
| | 豊かな感性と表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びを通して, 感じたことや考えたことを自分なりに書いたり, 作ったり, 遊んだりして楽しむことができるようになる。 ・友達同士で表現し合うことで, 面白さに気付いたり表現する過程を楽しんだりするようになる。 |

スタートカリキュラムにつなげる

